



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年9月14日(月) 第8回 通算第1572回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第8回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 黒澤 信之 会長

◇ロータリーソング「我らの生業」

ソングリーダー

佐藤 卓 立会員

◇お客様並びにビジター紹介

敬老の日にあたりお祝い



・齋藤武二会員 昭和14年10月5日生

◇会長あいさつ

黒澤 信之 会長



一週間ぶりのご無沙汰でございました。気づくとすっかり日が短くなり朝晩は涼しいどころか肌寒さを感じるようになってきた気がします。今回は敬老の日になんで、当クラブ内では最長老となられました、齋藤武二会員のご健康を祝

し、ささやかではありますがプレゼントをさせていただきました。齋藤武二会員におかれましては、10月に誕生日をお迎えになられますが、体調にご留意なさり、益々、我がクラブのご意見番としてご指導をくださいますようお願いしたいと存じます。くれぐれも新型コロナにはご注意ください。新型コロナといえば、相変わらずの流行でございます。一体いつまで続くのでしょうか、いつになったら終息するのでしょうか・・・日本で初めて感染例が報告されたのは今年の1月16日だったようです。以来8カ月、国内の累計感染者数は7万6千人に到達し、1,446人の方がお亡くなりになったとのこと。そして現在も7,200人ほどが治療を受けている現状になっているようです。この間、世界的大流行(パンデミック)が宣言されました。日本では緊急事態宣言が発表され、渡航や旅行が制限され、オリンピックも延期となりました。感染により言われなき中傷を受け地元を追われる家族もありました。事業の継続が困難になり廃業に追い込まれた人もいます。当クラブでも4月と5月はすべての例会を中止いたしました。我が家には子供が3人おりますが、学校は新学期に入り3人とも5月まで休校、高3の娘は高校総体の中止、小学校の息子は運動会の取止め、中3の息子は中体連が中止になり修学旅行は9月に延期となり、今朝出発していましたが、当初予定していた東京、ディズニーランド、鎌倉方面は貸し切りバスで那須高原に変更になりました。

社会、経済に及ぼしてきた影響は、本当に計り知れず、また、この先を予測することもできません。巷では、新規感染者の数が減少傾向になってきたということでGO TOキャンペーンには東京発も追加されることになりましたが本当に大丈夫なのでしょう・・・パンデミックはいつ終息するのでしょうか。ネットに面白い記事を見つけましたのでちょっとだけ紹介いたします。

歴史が示唆する新型コロナの意外な「終わり方」

過去のパンデミックはどう終息したのか

「感染症の終息はとても混沌としている」

「『いつ終わるんだろう』と人々が言う場合、それは社会的な終息を指している」と、ジョンズ・ホプキンス大学の医学史学者、ジェレミー・グリーンは言う。

つまり、病気を抑え込むことによって終わりが訪れるのではなく、人々がパニック状態に陥れて、病気とともに生きようになることによっても、パンデミックは終わるということだ。ハーバード大学の歴史学者、アラウン・ブランドは、新型コロナウイルスでも同様のことが起こっているという。「経済再開の議論を見る中で、いわゆる『終わり』は医学的なデータによって決まるのではなく、社会政治的なプロセスによって決まるのではないかと、多くの人が思っている」。

エクセター大学の歴史学者、ドラ・バーガは言う。「(感染症の終息は)とても混沌としている。過去の例でも、終息の理由がなかなか明確には説明できない。流行の終息は誰のためなのか、誰が終わりを宣言できるのか、なかなか見えてこない」。

エボラ出血熱——恐怖だけが続いた

病気の流行がなくても、恐怖の流行は起こる。2014年、アイルランド王立外科学院のスーザン・マリーは、アイルランド農村部の病院のフェローだったときに、その状況を目の当たりにした。

ワクチンがなくても終息する可能性

新型コロナウイルス感染症の場合はどうなるだろうか。

歴史学者が1つの可能性として挙げるのは、医学的に終息する前に、社会的に終わりを迎えるのではないかとということだ。人々がさまざまな制約に嫌気がさし、まだウイルスがくすぶっていても、ワクチンや効果的な治療方法が開発されていなくても、もうパンデミックは終わったと宣言する。

イエール大学の歴史学者、ナオミ・ロジャースは言う。「極度の疲労やフラストレーションといった、社会心理学的な問題があると思う。人々が『いい加減うんざりだ。もう普通の生活に戻っていいはずだ』と言うようになる可能性がある」。

それはすでに起こっている。アメリカのいくつかの州では、公衆衛生の当局者が時期尚早だと警告しているにもかかわらず、州知事が規制を解除し、ヘアサロンやネイルサロン、ジムなどの営業再開を認めた。ロックダウンによって経済状況が壊滅的になっていくにつれ、さらに多くの人たちが「もううんざりだ」と言うようになるかもしれない。

「こうした葛藤が現在生じている」とロジャースは言う。公衆衛生の当局者は医学的な終息を考えているが、一般の人たちの中には社会的な終わりをイメージしている人たちもいる。

「誰が終わりを宣言できるのか」とロジャースは言う。「もし終わったという考え方に反対するのであれば、どこかの部分に反対しているのか。『まだ終わっていない』と言う場合、どういう主張なのか」。

難しいのは、きっぱりと勝利宣言が出せないことだとブランドは言う。パンデミックの終わりを定義するのは「長く困難なプロセスになる」。

今日は、その辺のことも踏まえ、当クラブ主治医の大平謹一郎先生に特別に卓話をいただきます。あえてテーマを絞り込んでのお願いはしておりませんので、どんなお話しをお聞かせいただけるかは皆さんもご期待ください。大平先生の卓話にちなみお話しさせていただきました。本日もよろしくお願いいたします。

◇幹事報告

佐藤 慶 行幹事

○例会変更のお知らせ

- ・当クラブ、次週21日(月)の例会は祝日のため休会となっております。
- ・福島北RC22日(火)、福島RC24日(木)は祝日の週のため休会となります。

○その他のお知らせ

- ・18日(金)午後6時よりクーラクーリアンテサンパレスにて「ガバナー歓迎晩餐会」が開催されます。当クラブより11名が参加致します。
- ・26日(土)10時よりユラックス熱海にて職業奉仕委員会セミナーが開催されます。当クラブより渡辺敬藏委員長が出席されます。
- ・9月ロータリーレートは1ドル106円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

- ◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智 弘委員
- 黒澤信之会長＝本日は大平先生のスピーチ、楽しみにしております。宜しくお願いいたします。
- 佐藤宗弘会員＝9/10付にて(株)協和地質と社名変更しました。今後も鋭意努力致しますので、ご指導の程宜しくお願い致します。
- 久米允彦会員＝ようやく涼しくなりましたね。
- 西形健吉会員＝大平会員のタイムリーなスピーチに期待します。
- 齋藤武二会員＝敬老、わすれてました
- 根本いずみ会員＝今日は勉強させていただきます
- 宮崎秀剛会員＝本日も宜しくお願いします。

———大平先生のスピーチによせて———

- 高橋智弘会員 ○佐藤卓立会員 ○佐藤慶行会員
- 相澤 隆会員 ○大平謹一郎会員 ○高梨哲男会員
- 長島健博会員 ○野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員

本日のスマイリングBOX集計17名 45,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

- 大平謹一郎会員スピーチ 大平 謹一郎会員
「コロナ禍による所見等」



昨年12月で発生した新型コロナウイルス感染症はまたたく間に全世界に流行している。現在世界では、累計感染者2,880万人 死亡者92.1万人。日本でも、累計感染者75,218人 死亡者

1,439人。本日は新型コロナについて現在分かっていることそしてこの状態についていかに対処すれば良いかを話します。

新型コロナウイルスの特徴は

- ①感染力が強く、感染させ易く 1人平均2.5人に感染させる
- ②10人中8人は誰にも感染させないが残り2人は10人位感染させる
- ③感染者かわかりづらく症状が出ていない人も感染を広げる

- ・見えにくい感染症といわれており食い止める事が難しい対策がとりにくい
- ・潜伏期間は1～14日と幅がある
- ・感染させる能力はインフルエンザの100分の1、死亡率は20～30倍
- ・感染しても無症状の人は3～4割存在する
- ・風邪症状が1週間続きその後肺炎になる人が多い
- ・8割の人は治癒するが2割弱は重症化5～10%集中治療を必要とし人工呼吸器ECMO装着が必要になる
- ・嗅覚異常、味覚異常を訴える人が多い

●重症化しやすい人

- ・高齢者と持病のある人

●後遺症は

- ・回復しても後遺症が続く事がある。呼吸苦、嗅覚異常、味覚異常など

●新型コロナかと思ったら

- ・かかりつけ医や帰国者・接触者相談センターへまず電話をして指示を仰ぐ

●周囲の流行状況の把握

- ・厚労省の発生状況マップを参考にして下さい。

新型コロナ感染の切り札であるワクチン開発、治療薬の早期実現は予断をゆるさない状況であるのでまずは飛沫感染に対するマスク使用と三密対策、接触感染に対する手洗い消毒を実行する事が現在唯一の方法かも知れません。流言に一喜一憂せず健康管理に留意する。日本生活習慣病予防協会の提唱。一無(無煙、禁煙)二少(少食、少酒)三多(移動、多休、多接)を実行することも肝要です。注意する事は大切ですが心配し過ぎる事は心や体にとって害になりますしコロナを引き寄せるかもしれません。正しく恐れる事が大切です。

◇閉会点鐘

黒澤 信之会長

※会報カメラ担当

根本 いずみ会員

~~~~~ 今後の行事予定 ~~~~~

## ・10月5日(月) 【通常例会】

廣澤俊樹ガバナー補佐 クラブ訪問

\*10月誕生日祝い

\*「四つのテスト」唱和 渡辺敬藏会員

\*「ロータリーの友」10月号紹介

## ・10月12日(月) 【通常例会】

セミナー報告

社会奉仕・国際奉仕委員会セミナー：佐藤卓立会員  
職業奉仕委員会セミナー：渡辺敬藏会員

## ・10月19日(月) 【通常例会】

新会員スピーチ

梅津一匡会員(福島市議会議員)

## ・10月26日(月) 【夜間例会】

新会員歓迎夜例会(3年未満の新会員)

会費：6,000円

アトラクション：プラスアンサンブル輝響

## ・10月5日(月) 【10月理事会】